

原子力行政連絡調整会議専門委員の意見

平成16年3月23日の福島第一原子力発電所立入調査に同行した福島県原子力行政連絡調整会議専門委員の意見は以下のとおり。

安全・安心の確保という中で、これまで、私も安心という言葉を使ってきたが、なかなか論理的には表現しづらく、どう対処していくのかは難しい問題である。

その意味で、情報公開を進めていくことがやはり重要であり、タイムリーにかつ適切に、どのように情報を提供していくべきか、さらに工夫を重ね、よりよいシステムを作り上げていっていただきたい。

2号機については、シュラウドの交換、再循環系配管の交換も済みであり、問題はないという印象を受けているが、材料には難しい点があり、ベストの材料と思ってやったところが別なメカニズムでひび入ったりということが起きている。現状ではベストを考えていくのは当然としても、長期的には、また、別の視点で、再循環系配管、シュラウドも、定められた点検頻度できちっとやっていくと同時に、何らかの形で見ていくということを、計画的にやっていくことを検討していくことが必要ではないか。